

国際会長 主題：国境なき友情  
アジア太平洋地域会長 主題：ワイズ運動を尊重しよう  
東日本区理事 主題：広げよう ワイズの仲間  
あずさ部長 主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう  
甲府21クラブ会長 主題：実現可能な目標定め 山梨YMCAを支援しよう

Henry Grindheim (ノルウェー)  
Tung Ming Hsiao (台湾)  
栗本 次郎 (熱海)  
大野 貞次 (東京西)  
佐藤 重良

甲府21ワイズメンズクラブ  
2017年7月会報  
強調月間  
キックオフ/YMCA サービス  
ASF/RBM

### 今月の聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながってれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章 5節 野々垣健五 選

### 2017-2018 年度会長就任にあたって

甲府21ワイズメンズクラブ新会長 佐藤重良



佐藤重良新会長

私のような経験も知識もない者が、伝統あるクラブの会長をお引き受けして良いものか、また家庭の事情で活動時間に制限があり、ご迷惑をお掛けするのではと思案しました。

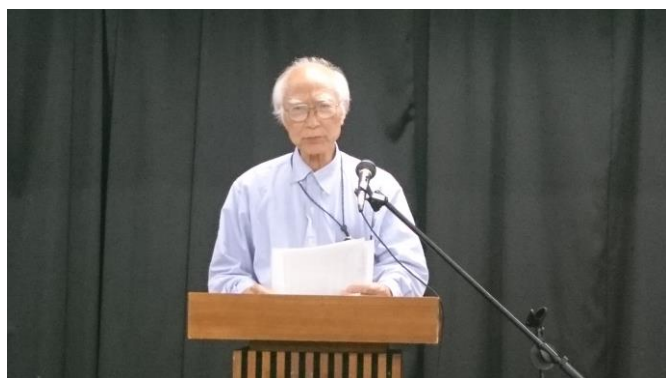
しかし、クラブの会員である以上、指名されたら務めるのも義務であろうと思い、大役をお引き受けさせていた

だきました。クラブの皆様の温かいご支援を期待し、微力ではありますが務めさせていただきます。

活動の主題は、「実現可能な目標定め 山梨YMCAを支援しよう」です。特に若者や弱者、障がい者や貧困者などを支援しようと思い掲げました。

クラブの活動の基本は、楽しく、達成感がなければなりません。

全員（メネットさんのご協力もいただき）がそれぞれの持てる能力と知恵を結集し、楽しく社会のためになるよう活動しましょう。



新年度の活動方針の説明を行う佐藤重良新会長  
2017年6月6日 甲府・山梨YMCA青少年センター

### 2017年7月キックオフ例会プログラム

日時：2017年7月4日（火）午後6時30分～

会場：割烹石川 甲府市城東2-4-7 055-232-3911  
司会：赤根 学メン

#### ■第1部 甲府21ワイズメンズクラブ総会

- ①開会点鐘 松村 禎夫旧会長
- ②ワイズソング・ワイズの信条
- ③今月の聖句 野々垣健五メン
- ④会員一言 饗場 裕メン
- ⑤会長挨拶 松村 禎夫旧会長
- ⑥ゲスト・ビジター紹介 松村 禎夫旧会長  
(大野 貞次あずさ部長 神谷 幸雄あずさ部書記 米長 晴信氏)
- ⑦事業報告・決算承認の件
- ⑧監査報告
- ⑨新役員承認の件
- ⑩新会長挨拶 佐藤 重良新会長
- ⑪事業計画・予算承認の件

#### ■第2部 懇親会

- ⑫ハッピーバースデー&ワイズディナー
- ⑬全員スピーチ・諸報告
- ⑭YMCAの歌
- ⑮閉会点鐘 佐藤 重良新会長

#### 【7月の誕生者】

- メン  
鎌田 巖（7月4日生） 相川貴宏（7月15日生）  
功刀 弘（7月26日生）
- メネット  
松村保乃（7月20日生）

#### 【甲府21ワイズメンズクラブ2017-2018年度達成目標値】

ニコニコ募金：250,000円 バザー：50,000円  
クリスマス例会（オークション）：50,000円  
ベビーカーコンサート募金：50,000円  
街頭募金：50,000円 ファンド：50,000円  
切手：5,000g 会員増員：2名

## 2017年6月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長



卓話を行うギッシュ・ジョージ氏  
＝甲府・山梨YMCA青少年センター

例年6月例会は、次年度についての協議例会ですが、今回はゲスト卓話者、及びゲストをお迎えした例会となりました。

松村禎夫会長年度最後の例会は定刻に開会。会長挨拶で松村会長は、「会合には出席第一をこの一年間完全に初めて実現できた事に感謝、多数の方々との出会い、色々な考えを知り多くを学ぶことが出来た。この経験を今後のワイズ活動に活かしたい」と感謝の意を伝えました。

ゲスト卓話者として招かれた山梨英和学院のギッシュ・ジョージ理事長はアメリカ・カンザス州出身でメソジストの宣教師として来日し、長きにわたり布教に努められる傍ら、琵琶の研鑽を重ねておられます。

「多文化理解 自己評価とアイデンティティーのアクセスメントー自分と日本と世界」と題された講演を拝聴、日本人とその文化の成り立ちを考慮の上、日本文化の歴史的多様性の観点から将来のグローバル化のあり方を踏まえて、日本社会における多文化理解と外国人との共生を考えましようと思われ、流暢な日本語でお話してくださいました。卓話後は、佐藤重良次年度会長から予算案の提案があり、承認され、週末のチャリティーランの最終確認を行い閉会しました。

日 時：2017年6月6日（火）午後7時00分～

場 所：山梨YMCA青少年センター

司 会：功刀 会員一言：山梨 ペンリレー：茅野

出席者：【メン】相川、荻野、小澤(公)、小澤(智)、鎌田、功刀、駒田、輿水、後藤、佐藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、松村(禎)、松村(豪)、薬袋、山梨

【メネット】野々垣、寺田

【ゲスト】ギッシュ・ジョージ（山梨英和学院理事長）、三井貴子（山梨英和中学校・高等学校校長）、露木淳司（山梨YMCA総主事）、小野興子（山梨YMCA岡島デイサービスセンター ぶどうの木管理者）

## 2016-2017 年度会長退任挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ旧会長 松村禎夫



甲府21クラブのバナーを持つ松村禎夫旧会長（右から3人目）  
＝2017年6月3日 埼玉・ウェスタ川越

「楽しい、奉仕しがいのあるクラブにしよう」を主題にして、この一年を歩んできました。

去年7月のキックオフ例会から始まり、夏の納涼例会、クリスマス例会、甲府クラブとの合同例会、草津クラブとの合同例会などの各種例会においては、皆様のご協力により、多くのゲストをお迎えして楽しい時間を持つことができました。

また、山梨県育精福祉センター納涼会の出店支援、YMCAバザーでのメン及びメネット出店、山梨県障害者フライングディスク大会協賛・同表彰式支援、富士五湖フライングディスク大会のサポート、チャリティーランの共同主催などの多彩なCS活動で、楽しい奉仕のひと時を皆さんと一緒に持てたことを感謝しております。

事業報告で報告いたしましたように、3名の会員増強もさることながら、クラブ皆勤賞受賞者がこの一年では16名とこの3年間で倍増し、クラブ会員全員が毎月何らかのイベントに参加して、クラブライフを楽しみながら奉仕して戴けたことを心から嬉しく思っています。

例会では、幅広い分野のゲストをお迎えして貴重な卓話を聞き、充実した自己研鑽の場を持てたのではと思っております。

さらに、この一年も甲府21ワイズメンズクラブは、山梨YMCAの理事に3名<古屋、野々垣、松村(豪)>、評議員に2名<功刀、茅野>、常議員に5名<古屋、野々垣、松村(豪)、清藤、松村(禎)>が参画し、その上、将来計画検討委員会に野々垣委員長をはじめ、6名<古屋、佐藤、廣瀬、奈良田、松村(豪)>の各委員が、山梨YMCAの運営・将来計画に責任を持って関わってきました。

このことは、次期会長が主題としている「実現可能な目標定め、山梨YMCAを支援しよう」にもつながりますので、今後とも山梨YMCAに積極的に関わって、実り豊かなワイズライフを楽しみましょう。

## 会員ペンリレー 2011年3月11日と2013年11月8日

甲府21ワイズメンズクラブ 清藤城宏

上記の日はいずれも大災害の日。どちらにも仕事として関わらせていただいている。前者の2011年3月11日は、思い出す方も多いと思う。2万人近い犠牲者を伴った東日本大震災の日。では後者2013年11月8日とは？

それは、フィリピンを直撃し、1万人の死者を出した大型台風30号「ハイエン（ヨランダ）」が、襲った日である。東日本大震災では、同年4月に入って海岸林の被害調査を中心に被災住民・行政との話し合いを開始し、私の所属するNGOオイスカが呼びかけ10年間で100haのクロマツ林を再生しようと仙台空港付近の海岸林再生に取り組んでいるところである。幸い多くの方々の善意により順調に50ha（東京ドーム約10個分）近い植栽が終わっている。

一方フィリピンの大型台風被災地であるが、2014年1月に朝日新聞の記者と見て回った。台風を高波も加わり、比較的簡素な建物地域では、爆撃を受けたような惨憺たる光景に目を奪われた。しかし日本人のボランティアと村人が海岸にマングローブを植え続けた村があり、その村は台風高波災害を免れていたのである。このため私たちは海岸林の必要性を訴え、外務省から資金援助を得、現在レイテ島を中心にマングローブ植林をおこなっている。台風は、赤道近くで発生するが、フィリピンは、台風の出発地点からわずか上の場所に位置している。台風は海水温の高い所を移動する性質があり、地球温暖化の影響でここ数年フィリピンの海水温が高くなっているため、台風の上陸回数が多く、台風の威力が強く、甚大な被害に繋がっていると言える。

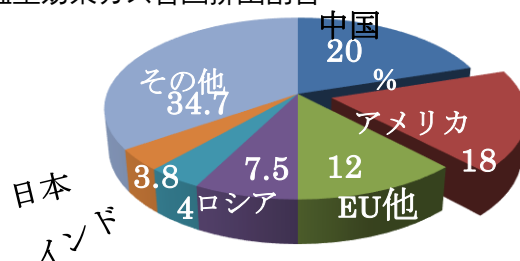
先日アメリカは、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議・COP21の「パリ協定」から離脱を表明した。私は激しい怒りを覚えた。これまでの会議では中国、インドなど大きなCO2排出国が入っておらず、パリ協定では、加速する地球温暖化の危機感から途上国も加え、みごとに「全員参加」の理想的理念が掲げられた協定となっていた。しかしアメリカの離脱によりこの協定も後退する事態を招くことになった。自国の利益のみの追求を強調するトランプ大統領には辟易である。

COPといえば2013年11月11日、ポーランドの首都ワルシャワで行われた第19回締約国会議(COP19)で、3日前にフィリピンを直撃した上記の超大型台風30号「ハイエン」について、同国政府のサニョ代表が涙を流しながら大演説を行ったことも私にとっては忘れがたい。「あまりの被害のひどさに表現する言葉を失った。この2日間、自らの両手を使って遺体を集め続けている。

3日間食事を口にしていない私たちは、有効な地球温

暖化対策で合意ができなければ、自らの悪い運命と契約を結んでしまうことになるかもしれない。この異常な気象現象の結果としてわが国が経験したのは、狂気である。異常気象は狂気なのだ。ハイエンのような台風とその衝撃は、温暖化対策を引き延ばせないことを国際社会に突きつけている。先進国の温室効果ガスの削減目標は破滅を防ぐのには十分ではない今、行動を起こさなければならない。温暖化懐疑派を象牙の塔から追い払おう！」と。そのサニョ氏の訴えが「パリ協定」にまで及んでいたのである。温暖化懐疑主義のトランプ大統領、自国第一主義により世界経済に混乱をきたし、今また経済だけでなく環境においてもアメリカを世界から嘲笑される国に成り下がらせてしまった。

図:温室効果ガス各国排出割合



## 第20回東日本区大会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長

ワイズメンズクラブ国際協会第20回東日本区大会が、2017年6月3日、4日と埼玉県川越市のウェスタ川越で開催されました。3日の土曜日の午前中は、代議委員会、メネットアワーなどが開催され、代議委員会には松村会長、駒田メンが出席、午後からは開会式に先立ち、オープニングセレモニーでは国指定重要無形民俗文化財「川越まつり」の山車の出庫と納め時に歌われる木遣りを地元道真囃子連の方々が披露し、川越まつりの雰囲気堪能、続いて恒例のバナーセレモニーにて会場が盛り上がり、開会式へと進みました。いすみ鉄道の鳥塚亮社長が「ローカル線を救うおもてなし～危機を乗り越え、地域を元気にする方法」と題した講演を拝聴、講演後はキャンプソングなど歌い和やかな中閉会、午後6時30分からは晩餐会が同じ会場内のホールにてスタート、東日本区の仲間が旧知の様に交わり楽しい一時を過ごしました。

翌4日の日曜日は、礼拝後、各種表彰式があり、続いて厳かに駒田メンの司会のもと理事引き継ぎ式が執り行われ、利根川第20代理事より次期理事栗本メンに引き継がれました。少人数の川越クラブがホストし開催運営されました事に敬意を表します。尚今年度の表彰で、EMC-M最優秀賞にて松村会長が壇上にて表彰され、また、優秀クラブ賞を理事表彰として受賞しました。

## 山梨YMCAチャリティーラン2017報告

甲府21ワイズメンズクラブ 小澤智之



勢いよくスタートした参加者  
＝甲府・小瀬スポーツ公園

障がいのある子ども達への支援金を募るイベント「第20回山梨YMCAインターナショナル・チャリティーラン2017」が2017年6月10日、山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園で開かれました。

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、参加費で障がいのある子どもたちを支援するとともに“障がい”への社会的な関心を高めることを目的に1987年にYMCA国際賛助会のプログラムとして東京で始まり、20回目となった今大会には5人1組で50チーム、計250人が参加し、同公園の補助競技場をスタートし、公園内の約1.1キロの特設コースを周回してボタンをつなぎました。タイムを競うスピード賞の1位はN T T走ろう甲斐、2位はシャルム山城キッズダイヤモンド、3位は甲府ワイズメンズクラブとなりました。

20回目ということで、実行委員会は、大会の準備や運営などで問題のあった点の改善を図りました。会場の案内表示を新しく作ったり、抽選会の景品をランイベントらしくするためG-SHOCKに変更したり、事務局のサポートをし続けました。その効果もあってか、大きなトラブルもなく大会を終えることができました。

甲府21ワイズメンズクラブは、会場設営や参加選手のコース誘導、記録などを担当し、大会の運営を支えました。今年の支援金は150万円となり、その一部は、山梨YMCAのプログラムである発達障がい児のための放課後等児童デイサービスや障がい児向けのキャンプ「フクロウキャンプ」、同じく障がい児向けの野外活動「フクロウくらぶ」などの費用に役立てられます。

### ■2017年6月 例会データ(会員数24名)

6月第1例会出席者	20名	出席率	83.33%
6月第2例会出席者	19名	出席率	79.16%
ニコニコ募金(第1例会)			13,982円
ニコニコ募金(第2例会)			0円
ニコニコ募金(6月合計)			13,982円
ニコニコ募金(累計)			185,145円

## YMCA便り 10月からYMCAは生まれ変わります!

山梨YMCA総主事 露木淳司

今、全国のYMCAは一丸となってブランドの再生に取り組んでいます。YMCAが実現したい世の中の姿は、互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会です。そして「みつかる」「つながる」「よくなる」……。これがYMCAがそれぞれの地域社会に向けて新たに発信するブランドバリューとなります。

6月17日、御殿場の東山荘において日本YMCA同盟協議会が行われました。その席上で、3年もの月日をかけて検討されてきた新しいYMCAブランドの象徴となるスローガンとロゴマークが発表されました。これによりオールジャパンYMCAは、一つのブランドとしてまとまり、山梨のような小さなYMCAも全国規模のスケールメリットを生かした活動ができるようになります。

共通のデザインの印刷物や看板、ユニフォームなどを用いて、10月1日から全国共通の活動が一斉に開始されます。もちろん外見だけでなく、事業内容や働くスタッフのありようも、共通の、高品質なものが求められます。YMCAならではのプログラム、安心感、信頼といったものが要求されてくるのです。不安や緊張は伴いますが、期待感も日に日に増してきています。この夏、既に「わいわい地球塾」に300名以上の子どもたちの参加申込みがありました。そのうち約半数が新規会員です。

山梨YMCAでは、万全の準備をして一足先にこの子どもたちに、ブランドバリューをシェアしYMCAファンとして定着してもらおう、と意気込んでおります。



子どもたちと触れ合う露木総主事

### ■今後の予定

7月15日(土)	第1回あずさ部評議会(松本市)
7月18日(火)	第2例会 会場係:EMC
8月5日(土)	山梨県育福福祉センター納涼会支援(南アルプス市)
8月13日(日)	フクロウキャンプ支援(北杜市)
8月22日(火)	第2例会 会場係:EMC
8月27日(日)	納涼例会 会場係:CS